

life innovation

シクロデキストリン

シクロケム

研究成果
生かすサプライヤー

製剤技術で顧客サポート

同社は α -CDなどのC製品の特性を生かし、技術提案型営業のビジネスモデルを構築している。複数の技術情報がまとまってきたことを機に、顧客のサプライ業界などに向けて発信していく。

理活性を示す血中アトラヒドロキシクルミブイドを増やすクルクミン製剤技術などの成果が得られている。

中小サプライメーカーなどの場合、新製品開発に長い期間と大きなコストをかけるのが難しいため、独自技術によるソリューション機能を最大限Cの同時配合する製剤技術、生体に有益なR体のみの α -リボ酸や、 β -トコトリエノールを吸収しやすくする製剤技術、生

決につながる」とし、新規顧客の開拓を含めてCD市場の裾野拡大を目指す。

最新の研究では、5月にドイツで開催された第17回国際シクロデキストリンシンポジウムにおいて同社の古根隆広氏が「 α -CDの摂取による脂質吸収低減効果のメカニズムに関する研究」でポスター賞を受賞。 α -CDによるコレステロール低減のメカニズムを解

明し、生活習慣病に対応した新たな素材開発に弾みをつける。10月には島根県松江市で開かれる第31回シクロデキストリンシンポジウムで、寺尾啓二社長が「補完・代替医療用機能性食品素材と薬用化粧品素材のCDによるナノテク革命」を特別

講演、また一般演題約5題で新見を公表する予定。

α -アラビノースと α -CDを組み合わせ、砂糖の吸収を抑制させる研究も進めている。 α -CDは欧洲のノーベルフルーズに認められ、食後血糖値上昇抑制に関する表示ができる。

きる。世界の流れを踏まえ、ダイエタリーサプリ用途への販売攻勢もかかる。ドラッグストアチェーンによるPBブランド採用への動きも出ているという。